

ふりがな 氏 名	やまもと まみ 山本 麻美	職 名	講師
取得学位	学士(教育)	学会での受賞歴	(財)手織技術振興財団 織成賞「審査員特別賞」 論文「木綿縞の染織文化研究」河村瑞江、山本麻美(平成6年4月) 美術文化展:新人賞、東海テレビ賞(平成29年4月)、佳作賞(平成30年4月)、努力賞、トヨタ画材賞(平成31年4月) 中部美術文化展:新人努力賞(平成29年10月)、奨励賞(平成30年10月)、中部美術文化賞、東海テレビ賞(令和元年11月)、努力賞(令和2年11月)、美術文化展:美術文化賞、トヨタ画材賞(令和3年4月)、中部美術文化展:東海テレビ賞(令和3年11月)
主な担当科目	保育内容の理解と方法(造形)、保育内容演習(表現1)、総合表現演習、保育実習指導1A、保育実習指導2、保育者養成基礎講座、保育者養成発展講座、保育者養成実践講座、工芸		
所属学会	日本保育学会、日本美術教育学会、日本デザイン学会、美術文化協会、日本保育者養成教育学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
教育方法の実践例 幼稚園教員とともに行う幼児の主体的な造形活動を促す「紙を使った見立て遊び」の実践	平成30年4月～平成31年3月	幼稚園の4歳児を対象に、何を作るのかを提示せず、紙に切り込みを入れたり、接着したりすることでできた形から、幼児が自分なりの見立てにそって主体的に紙工作に取り組む実践を幼稚園教員とともにを行い、子どもの主体性について考察。(水谷学園くわな幼稚園)
高大連携体験授業	平成30年10月	高大連携体験授業において、高校生にこれからの保育の方向性を体感できる方法として、子どもが主体的に造形活動に取り組めるようにする工夫についての授業(演習)を実施。
試行錯誤を促す教材の提示方法の工夫(FD)	平成30年11月	ポップアップカードの基本のしくみを学ぶ授業において、学生に対して作り方をあえて提示せず、各自やグループで試行錯誤をしながらポップアップするしくみを修得する授業を実施。(「保育内容演習(表現B)」)
オープンキャンパスにおける造形表現体験講座と学生の模擬保育とを組み合わせる教育実践	令和元年8月	高校生向けの造形表現体験講座を学生による模擬保育として実施するための企画・指導・実施
保育実習の代替演習として行なった造形表現活動と保育実習指導とを関連付ける教育実践	令和2年3月	保育実習の代替演習としてダンボールを使用した造形遊びを行ないながら、互いの行動の観察を日誌形式で記録し、さらにその記録を基に造形表現活動の指導案作成を行なうことをとおして、実践と記録、保育計画との関連を学ぶ授業を実施。
2歳児を対象とした子育てイベント	令和3年11月1日	名古屋女子大学附属幼稚園にて、2歳児を対象とした布を使った遊び「冒険にでかけよう!～見立てる力を使って

事 項	実 施 年月(日)	概 要
保育実習の代替演習として行なった造形表現活動と保育実習指導とを関連付ける教育実践	令和4年2月17・18日	遊ぶ体験～」を実施。一枚の布をいろいろなものに見立て遊ぶ活動を行なった。 保育実習の代替演習として、学生の「あそびにつなげる」をテーマとした造形表現に関する教材研究に基づき、6つの造形遊びワークショップを模擬保育形式で実施。全ての学生がファシリテーターとして一人ずつ活動を率いる役割を体験することで実践力を高めるとともに、指導計画や記録の価値を実感できる演習とした。
<p>作成した教科書、教材</p> <p>1)副読本『未来を見据えた保育者を目指して』鳴海出版 ISBN:978-4-907952-17-4</p> <p>2)『保育者・教育者のための総合表現指導の方法と技術ワークブック』ブラザー出版</p> <p>3)『子どもの遊びを広げる 保育内容 領域 表現の方法と技術ワークブック』ブラザー出版 ISBN:978-4-9909437-4-5</p> <p>4)『幼児造形の基礎～乳幼児の造形表現と造形教材』 ISBN:978-4-89347-311-0</p> <p>6)『保育実習の手引き』</p> <p>7)8)『保育実習の手引き』</p>	<p>平成30年2月</p> <p>平成30年3月</p> <p>平成31年3月</p> <p>平成30年11月</p> <p>令和元年9月</p> <p>令和2年9月 令和3年9月</p>	<p>編集:名古屋女子大学短期大学部保育学科 執筆者:(五十音順)伊藤理恵、上野真由美、大嶽さと子、他24名 担当:第4部「環境と遊びを通した総合的な指導法」第6章「表現」第2節「子どもの成長と造形に関わる保育者の役割」(pp.183-191) 幼稚園教諭、保育士、保育教諭になるために必要な専門的な知識を体系的に示した入門書。(全270頁)</p> <p>執筆者:松田ほなみ、伊藤理恵、河合玲子、神崎奈々、白石朝子、<u>山本麻美</u> 担当:造形表現(pp.1-13) プロジェクト研究「子どもの表現と創造性を育むアート教育の指導法の開発」をもとに開発したワークブック。</p> <p>執筆者:松田ほなみ、<u>山本麻美</u>、河合玲子、白石朝子、神崎奈々、伊藤理恵 担当:造形表現(pp.15-22、pp.25-26) プロジェクト研究「子どもの表現と創造性を育むアート教育の指導法の開発」をもとに開発したワークブック(改訂版)</p> <p>編著:樋口一成、執筆者:計35名、萌文書林 担当:「発想をかたちにする一紙を使った見立て遊び」pp.136-137(全264頁) 保育内容「表現」や「造形表現」の内容、造形の材料、道具、技法などについて、幼児の造形教育の方法、教材、実践例でわかりやすく企画・編集されたテキスト。</p> <p>編集:大嶽さと子、平澤節子、<u>山本麻美</u>、島澤ゆい、上野真由美、村松麻衣</p> <p>編集:大嶽さと子、平澤節子、<u>山本麻美</u>、島澤ゆい、上野真由美</p>

事 項	実 施 年月(日)	概 要
社会的活動		
1) 平成30年度全国保育士養成セミナー第7分科会記録者	平成30年 9月	全国保育士養成セミナー第7分科会記録者として、報告書を作成。
2) 幼稚園教諭を対象とした表現活動研修の企画・実施	令和元年 6月	幼稚園の教諭を対象として表現活動について実習を行いながら考える研修を企画・実施。
3) 「愛知県現任保育士研修」(愛知県現任保育士研修運営協議会)講師	令和元年 9月	初任保育士を対象とした「保育の基礎的技能(造形表現)」を担当。
4) 「ステイホーム特別企画～家族で楽しむアイデア・豆知識をご提供します」	令和2年 5月	家でものづくり「希望(きぼう)のちょうちよをつくろう!」「ダンボールに水をかけたら?!」新型コロナウイルス感染症の影響の中での自宅で楽しめる遊びや健康・栄養に関する豆知識の紹介のコンテンツを作成した。 (大学HP他、瑞穂区情報ページ「みずほん」、中日新聞朝刊市民版4月27日、毎日新聞社5月12日、本学学報vol.108などで紹介)
5) 「愛知県現任保育士研修」(愛知県現任保育士研修運営協議会)講師	令和2年 12月	初任保育士を対象とした「保育の基礎的技能(造形表現)」を担当。
6) 日本美術教育学会 第72回岐阜大会 実行委員	令和3年 10月～	日本美術教育学会 学術研究大会 第72回岐阜大会 実行委員
7) 「愛知県現任保育士研修」(愛知県現任保育士研修運営協議会)講師	令和3年 12月	初任保育士を対象とした「保育の基礎的技能(造形表現)」を担当。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	1) 副読本『未来を見据えた保育者を目指して』鳴海出版 ISBN:978-4-907952-17-4	共	平成30年 2月	編集:名古屋女子大学短期大学部保育学科	執筆者:(五十音順)伊藤理恵、 上野真由美、大嶽さと子、他24名 担当:第4部「環境と遊びを通した総合的な指導法」第6章「表現」第2節「子どもの成長と造形に関わる保育者の役割」 (pp.183-191) (再掲)
	2) 『保育者・教育者のための総合表現指導の方法と技術ワークブック』ブラザー出版	共	平成30年 3月	ブラザー印刷	執筆者:松田ほなみ、伊藤理恵、河合玲子、神崎奈々、白石朝子、山本麻美 担当:造形表現(pp.1-13) (再掲)

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	3)『子どもの遊びを広げる 保育内 容 領域 表現の方法と技術ワーク ブック』ブラザー出版 ISBN:978-4-9909437-4-5	共	平成31年 3月	ブラザー印刷	執筆者:松田ほなみ、 <u>山本麻 美</u> 、河合玲子、白石朝子、神崎 奈々、伊藤理恵 担当:造形表現(pp.15-22、 pp.25-26) (再掲)
	4) 幼児造形の基礎～乳幼児の造 形表現と造形教材 ISBN:978-4-89347-311-0	共	平成30年 11月	萌文書林	pp.136-137「発想をかたちにす る―紙を使った見立て遊び」 (再掲)
	5)『領域「表現」音楽と造形からの アプローチ 表現力を磨くための アセスメント～保育パフォーマンス を高めるための評価～』 ISBN978-4-9909437-5-2	共	令和3年 11月	発行/名古屋女子大学総 合科学研究所 ツゲ印刷株式会社	執筆者:平澤節子、 <u>山本麻美</u> 担当:第3章(5節、6節、7節、8 節)pp.23-29、ワークシート、装 丁デザイン、イラスト 保育実習指導における保育実 践指導時に、ループリック指標 による評価方法を導入すること で、課題の明確化と学生の保育 パフォーマンスの向上を目指す ためのテキスト(再掲)
論 文	1)キャリア教育という観点からみる 作業活動 -特別支援学校におけ る作業学習の実践を通して-	単	平成29年 11月	アジア文化造形学会誌 第15号	pp.13-26
	2)「学びの活動を振り返るためのド キュメンテーションと幼児の造形作 品との関わりについて」	単	平成30年 3月	名古屋女子大学紀要(人 文・社会編)第64号	pp.387-395
	3)「造形活動における「主体的・対 話的で深い学び」をめざした指導 形態と保育者のあり方について」	単	平成30年 9月	アジア文化造形学会誌 第16号	pp.35-47
	4)「紙を使った遊び」から見えた 子どもの姿～幼児期の造形的な活 動を見つめ直す～」	単	平成31年 3月	名古屋女子大学紀要(人 文・社会編)第65号	pp.289-298
	5)プロジェクト研究「子どもの表現 と創造性を育むアート教育の指導 法の開発」	共	令和元年 5月	名古屋女子大学総合科 学研究第13号	執筆者:松田ほなみ、河合玲 子、神崎奈々、白石朝子、 <u>山本 麻美</u> 、伊藤理恵(pp.59-66)
	6)プロジェクト研究「子どもの表現 と創造性を育むアート教育の指導 法の開発Ⅱ」	共	令和2年 5月	名古屋女子大学総合科 学研究第14号	執筆者:松田ほなみ、河合玲 子、神崎奈々、白石朝子、 <u>山本 麻美</u> 、伊藤理恵 pp.97-106

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
発 表	1)「保育者養成のための子どもの 育ちを考える造形表現教育の実 践」	共	令和2年 5月17日	第73回日本保育学会 (奈良教育大学・リモ ート)	発表者:松田ほなみ、 <u>山本麻美</u> ポスター発表 P-D-3-10
	2)「領域「表現」の指導を通した 学生の保育環境(教室)のイメ ージ形成について」	共	令和3年 5月16日	第74回日本保育学会 (富山大学・リモート)	発表者:松田ほなみ、 <u>山本麻美</u> ポスター発表 P-D-4-1
展 覧 会	1)「揺蕩」	単	平成29年 4月～	第77回美術文化展 [公募展] (東京都美術館4月10 日～16日) (愛知県美術館5月16 日～21日) (兵庫県立美術館6月14 日～18日)	自然素材を材料にした造形作品 (平面 w1,000mm×h2,200mm)
	2)「まにま」	単	平成29年 7月4日 ～9日	アジア文化造形学会中 部支部会員展 [グループ展] (愛知芸術文化センター アートスペースG)	自然素材を材料にした造形作品 (壁面 w1,800mm×h1,800mm)
	3)「あめ」	単	平成29年 8月1日 ～6日	森からのメッセージ 2017[グループ展](名古 屋市民ギャラリー栄第5 展示室)	自然素材を材料にした造形作品 (空間 w3,000mm×h2,500mm× d1,800mm)
	4)「Rustle」	単	平成29年 8月26日・ 27日	第3アジア文化造形学 会[作品発表](姫路市市 民会館)	自然素材を材料にした造形作品 (平面 w300mm×h1,600mm)
	5)「流れ」(上昇、下降)	単	平成29年 10月31日 ～11月5日	第66回中部美術文化展 [公募展](名古屋市博物 館ギャラリー)	自然素材を材料にした造形作品 (平面 w1,800mm×h1,000mm)
	6)「うつろう」	単	平成30年 4月～	第78回美術文化展 [公募展] (東京都美術館4月9日 ～15日) (クリエート浜松6月26 日～7月1日) (大阪市立美術館9月19 日～24日)	自然素材を材料にした造形作品 (平面 w360mm×h1,140mm×四 点組)
	7)「Grow」	単	平成30年 7月24日 ～29日	森からのメッセージ 2018[グループ展](名古 屋市民ギャラリー栄第5 展示室)	自然素材を材料にした造形作品 (平面 w5,000mm×h3,000mm)

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
	8)「とどろり」	単	平成30年 10月30日 ～11月4日	第67回中部美術文化展 [公募展](名古屋市博物 館ギャラリー)	自然素材を材料にした造形作品 (平面 w450mm×h1,000mm×3 点組)
	9)「めぐる」「つなぐ」	単	平成31年 4月～9月	第79回美術文化展 [公募展] (東京都美術館4月10 日～16日) (愛知県美術館ギャラ ー5月14日～5月19日) (大阪市立美術館9月18 日～23日)	自然素材を材料にした造形作品 (平面 w900mm×h900mm×2 点)
	10)「ながれ」	単	令和元年 8月6日 ～11日	森からのメッセージ 2019[グループ展](名古 屋市民ギャラリー栄第5 展示室)	自然素材を材料にした造形作品 (平面 w8,000mm×h1,800mm) あいちトリエンナーレパートナー シップ事業
	11)「なる」「おのず」	単	令和元年 11月19日 ～24日	第68回中部美術文化展 [公募展](岐阜県美術 館)	自然素材を材料にした造形作品 (平面 w1,800mm×h1,800mm W900mm×h1,800mm)
	12)「湧く」	単	令和2年 11月3日 ～8日	第69回中部美術文化展 [公募展](名古屋市博物 館)	自然素材を材料にした造形作品 (平面 w1,450×h1,200)
	13)「流転」	単	令和3年4 月～8月	第80回美術文化展 [公募展] (東京都美術館4月10 日～16日) 京都市京セラ美術館6月 8日～13日) (愛知県美術館ギャラ ー8月14日～15日)	自然素材を材料にした造形作品 (平面 w1,450×h1,200)
	14)「浮揚」	単	令和3年 7月27日 ～8月1日	森からのメッセージ 2021[グループ展](名古 屋市民ギャラリー栄第5 展示室)	自然素材を材料にした造形作品 (立体 w2,000×d2,000×h2,000)
	15)「ままに」	単	令和3年 11月2日 ～7日	第70回中部美術文化展 [公募展](名古屋市博物 館)	自然素材を材料にした造形作品 (立体 w900×d300×h1,800)
その 他 (報告書)	1)プロジェクト研究「子どもの表現 と創造性を育むアート教育の指導 法の開発」中間報告	共	平成30年 5月	名古屋女子大学総合科 学研究第12号	執筆者:松田ほなみ、伊藤理 恵、河合玲子、神崎奈々、白石 朝子、 <u>山本麻美</u>

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
その他 (報告書)	2)「紙紐を素材として使う」	単	平成31年 1月	アジア民族造形学会中 部支部研究報告 Vol.6	pp.27-28
	3)プロジェクト研究「子どもの表現 と創造性を育むアート教育の指導 法の開発Ⅱ」中間報告	共	令和元年 5月	名古屋女子大学総合科 学研究第13号	執筆者:松田ほなみ、伊藤理 恵、河合玲子、神崎奈々、白石 朝子、 <u>山本麻美</u> (pp.95-96)
	4)「保育者養成のための子どもの 育ちを考える造形表現教育の実 践」	共	令和2年 5月	日本保育学会第73回大 会発表論文集2020	執筆者:松田ほなみ、 <u>山本麻美</u> (pp.1219-1220)
	5)「領域「表現」の指導を通した 学生の保育環境の(教室)のイメ ージ形成について」	共	令和3年 5月	日本保育学会第74回大 会発表論文集2021	執筆者:松田ほなみ、 <u>山本麻美</u> (pp.897-898)